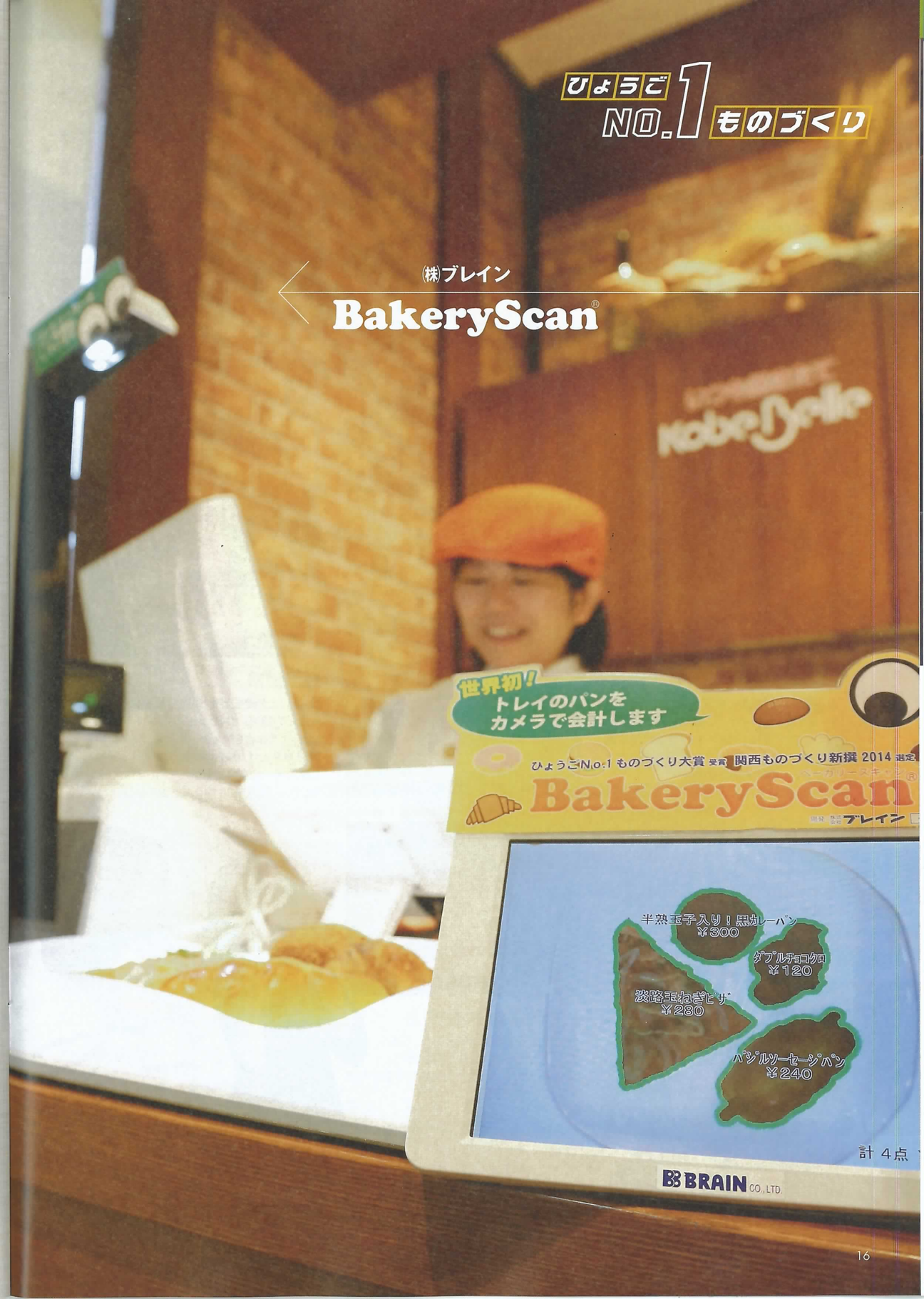
ひょうご NO.1 ものづくり

㈱ブレイン

BakeryScan®



トレー上のパンを一瞬で識別して精算

㈱ブレインが開発したBakeryScan（ベーカリースキャン）は、複数のパンを一括識別し、その値段と種類を表示するレジシステムだ。画像識別技術をレジ精算に応用したのは世界でも初めて。ベーカリーショップのレジ業務に革新をもたらした技術は、平成25（2013）年度の「ひょうごNo.1ものづくり大賞」を受賞した。

神戸淡路鳴門自動車道の淡路サービスエリア（下り線）内にあるベーカリーショップ。買い物客がレジカウンターにトレーを置くと、カメラが作動。撮影された画像がモニター画面に映し出されると同時に、それぞれのパンの種類と値段、合計金額が表示される。この間わずか1秒だ。

「4月にオープンした新規店舗でスタッフも全員が新人。ゴールデンウイークは混雑を覚悟していましたが、ベーカリースキャンのおかげで、お客さまを待たせることが少なくて済みました」と話すのは神戸ベル淡路SA店店長の水野雅介さん。「何よりもレジの扱いが簡単なので、新人の研修期間が短縮できました」と笑う。

画期的なシステムを開発したのは、西脇市に本社がある㈱ブレイン。始まりは平成20（2008）年、ある外食産業からの「バーコードを付けずに多種類のパンの精算を短時間でできないもの

「『パンの識別？そんなことできるわけがない』と言われたので血が騒いだんです」と神戸さん。

か」という相談だった。同社の代表取締役社長、神戸壽（かんべひさし）さんは「世の中にないなら、自分で創ればよい」と研究を開始した。

しかし、パンは違う種類でもよく似た形のものが多く、また反対に同じ種類でも具材や焼き具合で一つとして同じものはないため、半年を費やしても識別率は8割にとどまり、1個を識別するのに23秒もかかった。いったんは諦めかけたが、別の案件で共同研究していた兵庫県立大学が加わることになる。微妙な違いも識別できるよう計算方法を工夫したことで徐々に識別率は上がったが、実用化にはまだ課題があった。

そんな時、取り組みが全国紙に取り上げられたことをきっかけに、22年度の経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業に採択される。大手POSレジメーカーとパン製造会社も参加し、実証実験で明らかになった問題点を解決していった。パンの形状を明確にするため、トレーを置く台を発光させ、焼き色の違いは特定の計算式を導き出してクリアした。

「季節や天気によって店内の明るさが変わる。照明や外光の影響を受けないようにすることが一番の苦労でした」

昨年3月、ついにシステムが完成。現在は全国の14店舗に導入され評判を呼んでいる。さらに世界標準を目指して改良は続く。

会社概要

㈱ブレイン

事業内容 通信・情報処理・制御・計測・放送・医療などに関するコンピューターシステムの開発

所在地 西脇市鹿野町1352

TEL 0795(23)5510

FAX 0795(23)6357

ブレイン　西脇　検索